

父 ステイゴールド
 牡 黒鹿毛 2013年5月15日生まれ コスモヴェーフาร์ม



ステイゴールド
 黒鹿毛 1994年

コスモチェーロの13
 牡 黒鹿毛 2013.5.15

*コスモチェーロ
 Cosmo Cielo (AUS)
 栗毛 2003年

*サンデーサイレンス Sunday Silence (USA) 青鹿毛 1986年	ヘイロー Halo	Hail to Reason Cosmah
ゴールドデンサッシュ 栗毛 1988年	ウィッシング ウェル Wishing Well	Understanding Mountain Flower
フサイチ ペガサス Fusaichi Pegasus (USA) 鹿毛 1997年	*ディクタス Dictus	Sanctus Doronic
ショーウォン Shorwon (AUS) 栗毛 1983年	ダイナサッシュ	*ノーザンテースト *ロイヤルサッシュ
	ミスター プロスペクター Mr. Prospector	Raise a Native Gold Digger
	エンジェル フィーヴァー Angel Fever	Danzig Rowdy Angel
	ブエナ ショア Buena Shore	George Lewis Full View
	エイプリル ワンダー April Wonder	Newtown Wonder April Flower

Halo 3S×5D, Northern Dancer 5S×5D

母系

母 *コスモチェーロ(03 Fusaichi Pegasus)は豪州産、わが国で1勝。本馬は第5仔。産駒
 マイネヒメル(09 牝 栗 *ロージズインメイ) 4勝、大倉山特別(芝1800m)、立川特別(芝1600m)、恵山特別(芝1800m)、^⑨
 ウインマーレイ(11 牡 黒鹿 マツリダゴッホ) 2勝、アスター賞(芝1800m)、^⑨
 祖母ショーウォン Shorwon(83 Buena Shore)は不出走。産駒
クラシック アルア Classic Allure(牝 Bellotto) 豪4勝、S A J C アデレイド ギニー-G3、S A J C オーラリア S-G3 4着
ショールー Shorblue(牡 Bluebird) 豪7勝、S A J C アデレイド ギニー-G3、SAJC Veuve Clicquot S-L、VRC Chester Manifold S-L、SAJC Oaklands Plate-L、MRC Barton S-L 2着、SAJC Fulham Park Plate-L 3着、VRC オーストラリアン C-G1 4着。種牡馬
カラダン Kaladan(騏 Kala Dancer) 豪10勝、STC Winter Cup-L、STC Parramatta Cup-L
 カリビアン ロワイヤル Caribbean Royale(騏 *ロイヤルアカデミーII) 豪3勝、WATC Raconteur S-L 2着、WATC A.T.A. S-L 3着
 クージー ビーチ Coogee Beach(牝 Fusaichi Pegasus) 豪1勝、TRC 1000 Guineas-L 2着、TTC Tasmanian Oaks-L 3着
 ユーロテック Eurotec(牝 Marauding) 豪2勝。産駒
ヴィットーリア Vittoria(牝 Postponed) N Z・豪4勝、AURC Great Northern Champagne S-L 2着、BRC クイーンズランド オークス-G1 3着、VRC オークス-G1 4着
 曾祖母エイプリル ワンダー April Wonder(59 Newtown Wonder)は豪2勝、AJC Widden S、AJC Keith Mackay H、A J C ジムクラック S 2着。産駒
オールウェイズ ゼア Always There: 豪・北米10勝、ヴィクトリア ダービー、MVR C ムーニー ヴァーリ S。種牡馬
 ユーララ Yooralla: 豪1勝。**シンディーズ アピール** Cindy's Appeal(S A J C サイアーズ プロデュース S-G2)の母

母の父

フサイチペガサス

米国産、北米6勝、ケンタッキーダービー-G1(10F)、ウッドメモリアルS-G2(9F)。主な産駒ハラダサン(クイーンアンS-G1)、パンディニ(ブルーグラスS-G1)、ローマンルーラー(ハスキル招待H-G1)、チャンペガサス(クレメントLハーシュメモリアルターフチャンピオンシップS-G1)、フサイチセブン(南関東・ダイオライト記念-JPN2)、*フィフティーンワナー(アンタレスS-JPN3)

CHECK POINT

● 半兄のウインマーレイは2勝し、オープンではなかなか結果を出せていませんでしたが、青葉賞では一旦、先頭に立ちワールドインパクトとの一騎打ちと思わせるところまで来ました。クラシックへ出場することは叶いませんでしたが、古馬が相手でもオープンクラスまでは行くと思います。半姉マイネヒメルも準オープン馬となり、母は非常に優秀な繁殖です。本馬は脚が長く、いかにもキレそうなバネを感じます。東京や新潟など長い直線で、素晴らしい追い込みで観客を魅了してくれるでしょう。

